

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月3日(月) 13:00～15:00
- 3 会場 羽島特別支援学校 多目的室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|---------------|
| 委員 | 野口 和彦 | 大浦区長 |
| | 平井 崇広 | 万灯会まさき園施設長 |
| | 豊島 裕香 | 羽島市主任児童委員 |
| | 長澤 敦 | 長谷虎紡績株式会社総務部長 |
| | 坂倉 恒光 | グランド川村店主 |
| | 山田 和恵 | P T A会長 |
| 学校側 | 廣瀬 雅行 | 校長 |
| | 横山 知加子 | 事務部長 |
| | 由井 真紀子 | 教頭 |
| | 北川 貴美 | 教頭 |
| | 河野 美由紀 | 小学部主事 |
| | 岩井 美喜子 | 中学部主事 |
| | 岡田 一朗 | 高等部主事 (欠席) |
| | 細江 紀吉 | 教務主任 |
| | 成瀬 朋子 | 作業主任 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業参観の感想

意見1: 避難訓練を行っているか。

⇒「命を守る訓練」を年2回行っている。

意見2: 一般就労について、意見交換できる機会を作っていきたい。会社としても採用していきたいと思っている。

⇒進路指導主事を中心に、是非意見交換していきたい。

(2) 今年度の学校運営について

○校長より説明

- ・児童生徒、一人一人の可能性を最大限に伸ばして、夢や希望の実現と自立と社会参加のための力を育成する。
- ・地域との連携を強調し、地域の方と一緒に学び育つ。教職員も学校も児童生徒と一緒に学び成長する。

- ・教職員の危機管理意識を高め、保護者、地域の方と共に安心・安全を守る。

(3) 学校概要と各部の運営について

- ・ P P を使用し、概要を教務主任、各部は部主事（高等部は教頭）により説明

(4) 学校預り金について

- ・ 令和 5 年度決算報告

(5) 高等部作業製品価格について

- ・ 高等部作業主任より作業製品の価格設定について説明

意見 1 : 手に取りやすく、目に触れやすいよう、コンビニエンスストアなどで作業製品をおいでてもらってはどうか。

⇒サンプルを用意し、HP でも作業製品を紹介していくなど、できる範囲で検討する。

意見 2 : 贈答用にラッピングしてもらえるか。

⇒現在、OPP 袋に入れて販売している。包装はしていないので、今後検討していく。

意見 3 : さをり織りを知らない方もいるので、作業中の動画を流すなどし、付加価値をアピールすると良いのでは。

⇒作業中の動画などを撮り、販売会で流せるようにしていく。

意見 4 : 生徒が販売することが目的で、生徒の販売機会があつての作業販売であるという考え方がたと伺っているのでその機会を大切にしていってほしい。

販売会の告知をすると良い。(販売会場にポスターを張るなど) また、作業製品の利用方法などを写真で掲示すると良いのではないか。

⇒ポスターの掲示、作業製品の利用方法などの写真を用意していく。

(6) 学校運営全般について

意見 1 : 安全を第一に。安全安心できる学校を作っていきたい。

意見 2 : 午後からの授業参観で、児童生徒のいつもと異なる様子が見られた。開放的で良い。

意見 3 : どの学級も落ち着いて、穏やかに学校生活を送っている。

意見 4 : 校長の学校経営に対する熱い思いを知り、地域との連携に期待している。一緒に行っていきたい。

意見 5 : 車イス使用の児童生徒の教室をエレベーターの近くにしている配慮を知った。

意見 6 : 手をかけて育てられ、地域の皆さんの目に触れながら育ってほしい。安心して過ごせるような社会になるよう願っている。

6 会議のまとめ

- ・学校及び各部の運営方針に対して委員より承認を得ることができた。
- ・高等部生徒の作業製品価格について協議を行い、承認を得ることができた。
- ・作業製品販売について、また就労に関して、協力的な助言を得ることができた。得られた助言について改善を進め、実践に結びつけていくとともに、今後もさらに地域や関係機関と協働的に連携していきたい。